

2020年11月12日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス
 コード番号 9409 URL <https://www.tv-asahi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 早河 洋
 (氏名) 小林 直治
 TEL 03-6406-1115
 配当支払開始予定日 2020年12月7日

(百万円未満切捨)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	118,026	18.8	2,317	56.1	4,272	41.6	2,837	37.5
2020年3月期第2四半期	145,416	1.7	5,274	7.1	7,318	2.7	4,537	7.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 11,243百万円 (83.8%) 2020年3月期第2四半期 6,117百万円 (63.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	27.29	
2020年3月期第2四半期	42.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	443,097	361,629	81.4
2020年3月期	447,549	352,518	78.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 360,562百万円 2020年3月期 351,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	13.2	5,000	60.2	8,000	75.0	6,000	77.3	57.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料] P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	108,529,000 株	2020年3月期	108,529,000 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	4,545,946 株	2020年3月期	4,556,957 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	103,976,267 株	2020年3月期2Q	107,167,433 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては[添付資料] P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、2020年11月12日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

・当社は、2020年11月18日(水)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況となっております。テレビ広告市況におきましても、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を大幅に下回るなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような経済状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,180億2千6百万円（前年同期比△18.8%）、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,157億8百万円（同△17.4%）となりました結果、営業利益は23億1千7百万円（同△56.1%）となりました。また、経常利益は42億7千2百万円（同△41.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億3千7百万円（同△37.5%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①テレビ放送事業

タイム収入は、アドバイザーの宣伝活動において柔軟性と効率性を重視する動きから、引き続き固定費削減傾向がみられ、レギュラー番組のセールスでは減収となりました。単発番組につきましては、前年同期の開局60周年記念番組である5夜連続ドラマスペシャル「山崎豊子 白い巨塔」「世界水泳韓国・光州2019」「世界フィギュアスケート国別対抗戦2019」や「全英オープンゴルフ」などの反動により、減収となりました。以上の結果、タイム収入合計は372億7千2百万円（前年同期比△10.3%）となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が新型コロナウイルス感染症の影響で、前年同期を大幅に下回ったことなどから減収となりました。業種別では、「官公庁・団体」は好調でしたが、「交通・レジャー」「金融・保険」「情報・通信」など多くの業種で減収となりました。以上の結果、スポット収入は304億9千6百万円（同△29.8%）となりました。

また、BS・CS収入は120億8千9百万円（同△7.6%）、番組販売収入は66億3千2百万円（同+1.0%）、その他収入は94億7千6百万円（同△17.3%）となりました。

以上により、テレビ放送事業の売上高は959億6千7百万円（同△17.3%）、番組制作費の減少などにより営業費用は946億6千2百万円（同△17.2%）となりました結果、営業利益は13億5百万円（同△28.3%）となりました。

②音楽出版事業

前年同期に開催した「ケツメイシ」のコンサートツアーの反動減や、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、「ソナーポケット」「湘南乃風」のコンサートツアーの中止・延期などにより、音楽出版事業の売上高は30億9千8百万円（前年同期比△51.5%）、営業費用は28億2千3百万円（同△49.7%）となりました結果、営業利益は2億7千4百万円（同△64.4%）となりました。

③その他事業

通販番組「じゅん散歩」の好調な視聴率を背景に、ヒット商品にも恵まれ、ショッピング事業が増収となりました。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」の中止など、イベントの中止・延期が相次いだことにより、イベント事業が減収となりました。

以上により、その他事業の売上高は 252 億 3 百万円（前年同期比△15.3%）、営業費用は 244 億 6 千 3 百万円（同△9.4%）となりました結果、営業利益は 7 億 4 千万円（同△73.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比 44 億 5 千 1 百万円減の 4,430 億 9 千 7 百万円となりました。これは、有価証券が 218 億 9 千 3 百万円、投資有価証券が 111 億 4 千 5 百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が 191 億 2 千 4 百万円、現金及び預金が 174 億 9 千 8 百万円減少したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比 135 億 6 千 2 百万円減の 814 億 6 千 7 百万円となりました。また、純資産合計は、前連結会計年度末比 91 億 1 千 1 百万円増の 3,616 億 2 千 9 百万円となりました。この結果、自己資本比率は 81.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから、未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、公表いたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、テレビ広告市況などの当社グループの事業環境に多大な影響を与えており、2021 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間においてスポット広告の出稿量が前年同期を大幅に下回るなど厳しい状況となっております。こうした状況は、2021 年 3 月末まで一定程度継続するものの、段階的に回復するものと仮定しております。

以上により、売上高は 2,550 億円、営業利益 50 億円、経常利益 80 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 60 億円を見込んでおります。

2021 年 3 月期通期連結業績予想(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	—	—	—	—	—
今 回 発 表 予 想 (B)	255,000	5,000	8,000	6,000	57.70
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	
増 減 率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020 年 3 月期)	293,638	12,565	32,048	26,398	248.58

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,534	22,036
受取手形及び売掛金	74,417	55,292
有価証券	17,405	39,299
たな卸資産	11,791	12,056
その他	12,455	13,802
貸倒引当金	△71	△59
流動資産合計	155,532	142,428
固定資産		
有形固定資産		
土地	46,438	46,438
その他(純額)	60,782	58,720
有形固定資産合計	107,221	105,159
無形固定資産		
その他	6,651	6,026
無形固定資産合計	6,651	6,026
投資その他の資産		
投資有価証券	155,951	167,096
その他	22,448	22,642
貸倒引当金	△256	△256
投資その他の資産合計	178,144	189,483
固定資産合計	292,016	300,669
資産合計	447,549	443,097
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,934	6,893
その他	54,693	39,951
流動負債合計	63,627	46,845
固定負債		
退職給付に係る負債	19,120	18,777
その他	12,282	15,845
固定負債合計	31,403	34,622
負債合計	95,030	81,467

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,654	36,665
資本剰余金	70,427	70,438
利益剰余金	235,961	236,619
自己株式	△9,343	△9,318
株主資本合計	333,699	334,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,240	31,450
繰延ヘッジ損益	△88	△106
為替換算調整勘定	△124	△188
退職給付に係る調整累計額	△5,264	△4,998
その他の包括利益累計額合計	17,763	26,157
非支配株主持分	1,055	1,067
純資産合計	352,518	361,629
負債純資産合計	447,549	443,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	145,416	118,026
売上原価	109,689	90,827
売上総利益	35,727	27,198
販売費及び一般管理費	30,452	24,881
営業利益	5,274	2,317
営業外収益		
受取配当金	817	786
持分法による投資利益	1,031	1,044
その他	245	202
営業外収益合計	2,094	2,033
営業外費用		
投資有価証券評価損	-	26
固定資産廃棄損	29	32
その他	20	19
営業外費用合計	50	78
経常利益	7,318	4,272
特別損失		
投資有価証券評価損	171	-
新型コロナウイルス感染症による損失	-	274
特別損失合計	171	274
税金等調整前四半期純利益	7,147	3,998
法人税等	2,537	1,149
四半期純利益	4,610	2,849
非支配株主に帰属する四半期純利益	72	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,537	2,837

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	4,610	2,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,489	7,116
繰延ヘッジ損益	△259	△18
為替換算調整勘定	△14	△8
退職給付に係る調整額	237	262
持分法適用会社に対する持分相当額	52	1,043
その他の包括利益合計	1,506	8,394
四半期包括利益	6,117	11,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,044	11,231
非支配株主に係る四半期包括利益	72	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	114,237	6,267	24,912	145,416	—	145,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,846	115	4,846	6,807	△6,807	—
計	116,083	6,382	29,758	152,224	△6,807	145,416
セグメント利益	1,821	770	2,743	5,335	△60	5,274

(注) 1. セグメント利益の調整額△60百万円は、セグメント間取引消去△64百万円、当社における子会社からの収入1,071百万円及び全社費用△1,067百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	94,398	2,988	20,638	118,026	—	118,026
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,568	109	4,565	6,243	△6,243	—
計	95,967	3,098	25,203	124,269	△6,243	118,026
セグメント利益	1,305	274	740	2,320	△2	2,317

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去△45百万円、当社における子会社からの収入1,115百万円及び全社費用△1,073百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。